



2024年3月19日

各 位

会 社 名 シンプレクス・ホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 金子 英樹
(コード番号：4373 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 CFO 江野澤 慶亮
(T e l . 0 3 - 3 5 3 9 - 7 3 7 0)

配当方針の変更および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、配当方針の変更および2024年3月期の期末配当予想の修正について、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当方針の変更について

(1) 変更理由

当社は、今後予想される事業環境や顧客ニーズの変化に適切に対応し、持続的な企業価値向上を図っていくための長期成長戦略として、当社グループの目指すべき姿を定めた「Vision1000」を新たに策定し、2023年10月に発表しております。加えて、「Vision1000」の実現に向けた中間地点として、2025年3月期を初年度とする3か年の「中期経営計画 2027」も併せて発表しております。

当社は、資本効率を意識した経営推進の一環として、「Vision1000」および「中期経営計画 2027」における重要な経営指標の1つとしてROE目標を掲げ、資本効率の向上に資する株主還元についても、キャピタルアロケーションにおける重要施策として、より一層の充実を目指すことといたしました。

これに伴い、配当方針を変更し、配当については従来どおり利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を基本方針としつつ、連結配当性向の目安を従来の30%から40%へと引き上げることといたします。

* 「Vision1000」および「中期経営計画 2027」の詳細につきましては、以下 URL をご参照ください。

https://ssl4.eir-parts.net/doc/4373/ir_material_for_fiscal_ym1/143031/00.pdf

(2) 配当方針

変更前	変更後
当社は、剰余金の配当につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。配当性向の目安に関しては、親会社の所有者に帰属する当期利益の30%を目安として総合的に勘案の上、配当を決定しております。	当社は、高いキャッシュフロー創出力を礎として、財務健全性を維持した上で、事業基盤の強化に繋がる成長投資を優先的に実行することが、持続的な利益成長と企業価値の向上に資すると考えております。
なお、当社は中間配当を行うことができる旨を定款で定めております。また、当社は会社法第459条第1項の規定に基づき、法令に別段の定めがある場合を除き、剰余金の配当にかかる決定機関を取締役会とする旨を定款に定めております。	加えて、当社は、資本効率を意識した経営に取り組んでおり、重要な経営指標の1つとしてROE目標を掲げ、資本効率の向上に資する株主還元についても、キャピタルアロケーションにおける重要施策として認識しております。
	こうした認識に基づき、当社は、業績動向やROE水

	<p>準、成長投資の機会等を総合的に勘案した上で、配当を基本として株主還元の充実に努めております。</p> <p>配当については、利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を基本方針とし、連結配当性向40%を目安として配当を行う方針です。</p> <p>なお、自己株式の取得についても、資本効率の向上に資する株主還元策として、前述の配当決定に係る検討事項に加え、株価を含めた市場環境を考慮した上で、機動的に実施していく方針です。</p> <p>当社は中間配当を行うことができる旨を定款で定めておりますが、現在は、期末配当にて年1回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。</p> <p>また、会社法第459条第1項の規定に基づき、法令に別段の定めがある場合を除き、剰余金の配当にかかる決定機関を取締役会とする旨を定款に定めております。</p>
--	--

(3) 配当方針変更の時期

2024年3月期の期末配当から適用いたします。

2. 2024年3月期の期末配当予想の修正（増配）について

(1) 修正理由

上記1の配当方針の変更に伴い、2024年3月期の期末配当予想につきましては、前回予想（2023年4月27日公表）の30円から12円増配し、42円に修正いたします。

(2) 修正後の配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2023年4月27日公表)	/	30円00銭	30円00銭
今回修正予想	/	42円00銭	42円00銭
当期実績	0円00銭	/	/

以上